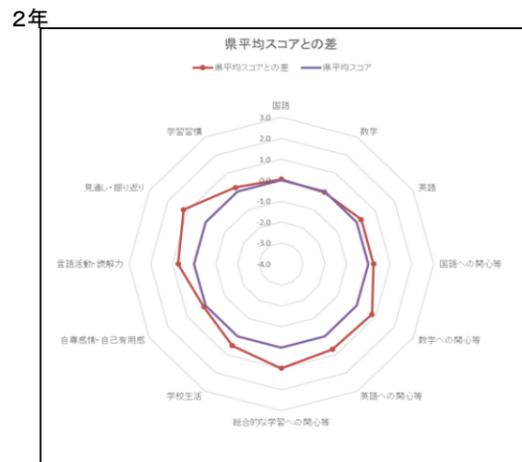
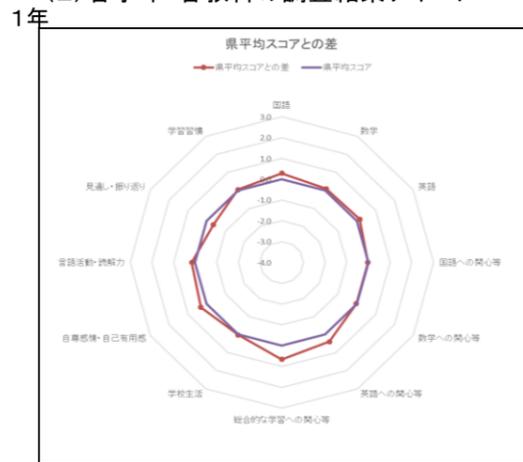


令和元年度 島根県学力調査結果及び分析・対策(松江市立第三中学校)

(1) 学力調査結果から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	国語	○全領域で県平均正答率を上回っており、特に漢字の書きと「書く」領域の正答率が高い。 ●文法事項と「話す・聞く」領域の平均正答率がやや低い。	・「話す・聞く」領域の言語活動や授業の中で考えを交流し合う場面を増やし、「話す・聞く」領域の活動経験の充実を図る。 ・文法事項の学習時に、既習事項と関連づけた指導や反復練習の機会を設け、習熟を図る。
	数学	○どの領域においても県平均正答率を上回っており、「関数」「資料の活用」の平均正答率が特に高い。また、活用問題の平均正答率が高い。 ●選択式や、短答式の問題の平均正答率があまり高くない。特に、方程式が関係する問題の平均正答率が低い。	・考えることを苦にしない生徒が多いので、引き続き授業の中でも考えたり、自分の意見を発表したりする時間を確保していく。 ・計算力の向上を図るため、計算練習の機会も意識して増やしていく。
	英語	○全てのカテゴリーにおいて、県平均正答率を上回っている。 ●文のつながりに注意して、正しく書くことが苦手な生徒が多い。	・新出語句や文法をしっかり覚えられるように、基礎・基本を繰り返し指導する。 ・図や表の概要を言葉で表したり、長文読解のためのトレーニングをしたりする時間を増やす。
2年	国語	○前年度苦手だった「書く」領域の平均正答率が向上し、全領域とも県平均正答率を上回っている。 ●漢字を正しく書く力に課題がある。また、記述式問題の無解答率がやや高い。	・既習漢字を正しく書けるよう、小テストなどを通して繰り返し指導する機会をもち習熟を図る。 ・自分の考えを短文やまとまった文章で表現する活動に加え、書いたものを相互に検討しあう機会を設けていく。
	数学	○「数と式」と活用問題において、県平均正答率を上回っている。 ●連立方程式の文章問題や関数の問題において平均正答率が低く、苦手意識をもっている生徒が多い。	・文章を読んで方程式を組み立てることができるように、文章問題を解く機会を授業で定期的設ける。 ・授業の振り返りを行う時間を必ず設ける。
	英語	○「聞く」「書く」ともに平均正答率が高く、授業中の表現活動や作文練習の成果が表れている。 ●物語のあらすじや説明文の大切な部分などを正確に読み取ることが苦手である。	・引き続き、授業や家庭学習で外国語表現の能力が上がるように指導していく。 ・授業や家庭学習で、まとまりのある英文を読んで、大事な部分を正確に読み取る練習をする。

(2) 各学年・各教科の調査結果チャート



(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
1年生	本校	73	51	65
	松江市	69	52	64
	島根県	68	49	62

(参考) 平均正答率

		国語	数学	英語
2年生	本校	78	37	57
	松江市	77	40	54
	島根県	77	38	53

受検者数
1年生 83 人

受検者数
2年生 71 人

各スコアの範囲は-4から+3までで、島根県のスコアは基準値の0となっています。スコアが0より大きければ大きいほど、島根県よりも「当該教科で平均正答率が高かった」、あるいは「当該カテゴリで肯定的回答が多かった」という結果になります。

(3) 生活・学習に関する意識調査から見られた傾向

		成果と課題(○:成果、●:課題)	対策
1年	授業改善に関わる事項	○自分の考えを発表したり、話し合う活動をよく行っているという回答が多く、授業に前向きに参加している生徒が多いと言える。 ●最後に学習したことの振り返りができていないと感じている生徒が半数にとどまっている。	・振り返りによって定着が不十分である部分を見極め、授業や家庭学習での復習につなぐ。
	家庭学習に関わる事項	○平日の携帯電話やスマートフォンの使用時間を1時間前後に控えている生徒が多い。 ●自分から家庭学習を行ったり、学校の復習や宿題をしたりすることができない生徒が多い。	・家庭学習が計画的にできるように、家庭での生活予定表を作成し、時間の使い方を考えさせていく。 ・家庭学習を含めた勉強の仕方を授業の中で指導し、自分で宿題や復習に取り組むことができる力をつける。
2年	授業改善に関わる事項	○めあてを示し、自分で考えさせ、話し合う活動を取り入れ、振り返りをさせる授業スタイルがきちんと定着している。 ●生徒が課題を見つけて、その解決に向けて話し合い、整理して発表する機会が少ないと言える。	・総合的な学習の時間だけでなく、すべての教科の授業に課題解決学習を取り入れ、グループごとに課題を設定して解決するような場面をつくる。
	家庭学習に関わる事項	○家で、誰かに言われなくても自分から勉強していると回答した生徒の割合が高い。 ●学校の授業以外での学習時間が短い。	・家庭での学習時間を確保し、習慣化できるようにしていく。また、宿題の量や質についても工夫しながら提示する。

(4) 生活・学習に関する意識調査の結果

